



6/12 (金) あいさつで心身ともに明るく、たくましく!

家庭、学校、地域、企業、行政が一体となって、全市民を挙げて青少年健全育成を推進することを目的とした「愛の声かけ運動」の、より一層の啓発推進を図るために「6.12愛の声かけ一斉早朝コール作戦」が行われました。出発式では、市長が「あいさつ運動は、青少年の健全育成・安全確保をはじめ、明るく安心安全な地域づくりに大きく貢献しております。雨にも負けず、これまで以上にあいさつをしていきましょう。」と参加者たちを激励しました。その後、市内全域で早朝コール作戦が展開され、メイン会場となった内間交差点では、参加者と登校する子ども達とのあいさつ声で活気に溢れていました。



6/13 (土) バリ島からの不思議な影絵芝居

6月5日から美術館にて開催されたイベント「バリバリ★ワヤン!?〜バリ島 影絵芝居の世界〜」の一環としてワヤン影絵芝居が公演されました。ワヤンとは、インドネシアのジャワ島・バリ島などで行われている、操り人形を用いた伝統的な影絵芝居です。影絵芝居では、古ジャワ語の叙事詩「スタソーマ物語」が演じられ、劇中は沖縄・浦添の話題が面白おかしく登場するなどして、会場を大いに沸かせました。また、舞台裏からの様子も見ることができ、子ども達は、スクリーン上で動く影絵とワヤン人形を操る出演者の動きを交互に見て楽しんでいました。



6/7 (日) 災害に強いまちづくりに向けて

防災意識の高揚と土砂災害の防止、被害の軽減を目的とした第4回「土砂災害・全国統一防災訓練」が浦添市仲西地区で行われました。地域住民、市職員、消防、警察、気象台などの関係機関、約170名が参加し、大規模な訓練となりました。訓練では、避難所の開設、災害時要援護者の避難支援が行われ、災害ボランティアバイク隊などによる物資の搬送や避難所での炊き出し訓練も実施されました。また、この日は仲西自治会の自主防災組織の認定式も行われました。仲西自治会の島田勝男会長は、「訓練を終え、計画と実践がうまくいったことに達成感と安堵感でいっぱいである。自主防災組織認定証をいただき、今日のことをきっかけとして、今後も地域への目配り気配り等をし、地域の皆さんと協力しながら頑張っていきたい。」と今回の訓練の成果を語りました。



5/30 (土) こんな活動でいい街になるよ!

市役所9階展望ロビーにおいて「第8回まちづくりプラン賞」の報告会が開催されました。報告会では、まちづくりに関心のある約80名が参加し、昨年受賞した10団体によって、景観形成や文化遺産などまちづくりに寄与する活動内容が報告されました。報告会終了後は、参加者の情報交換会が行なわれ、市民活動を進めていく上での悩みや苦勞を語り合うとともに、創意工夫していることを紹介し合うなど活発な意見が交わされました。



5/27 (水) 市民福祉への尽力に感謝を込めて

自治会長退職者感謝状贈呈式が市役所で行われ、自治会長として市民福祉に貢献してきた、銘苅清光さん(伊祖)、城間剛さん(宮城)、比嘉清さん(経塚)、長嶺栄徳さん(当山ハイツ)の4人に感謝状が送られました。自治会長退職者を代表して城間剛さんは、「今回の感謝状を光栄に思います。自治会長というのは、やればやるほど、やりがいのある仕事です。各自治会長の皆様、健康には充分気をつけて自治会長の仕事に励んでください。地域のますますの発展を祈っています。」とあいさつしました。



5/19 (火) 地域の皆さんと福祉をつなぐ窓口です

「『民生委員・児童委員の日』活動強化週間」に伴う出発式が市民広場で開催されました。民生・児童委員は厚生労働大臣から委嘱を受け、無報酬で地域の人たちの相談役となったり、関係機関と協力したりして地域福祉活動を展開しています。連絡協議会の我部会長は、「住民の皆さんと一緒に頑張って地域づくりに取り組む者として、民生・児童委員が身近にいることを知ってもらいたい。」と述べました。期間中は「広げよう地域に根ざした思いやり!」をスローガンに、積極的な広報活動を行いました。



6/1 (月) 障がい者の自立支援に向けて

浦添市障害者自立支援協議会の委員委嘱状交付式が市役所で行われました。この協議会は、障害者自立支援法に規定する各種事業の適切な運営を図るとともに、地域の障がい福祉に関連するシステム作りにおいて中核的な役割を果たすことを目的としています。今回は、学識経験者、医師、事業所の代表や各種関連機関の職員15名が委員の委嘱を受けました。副市長は、「この協議会は、第一線で活動される皆様のご理解があってこそ運営できることです。障がい者もそうでない方も関係なく自立できるようにこれまでの豊かな知識を生かしてほしい。」とあいさつしました。